

労働者派遣法の抜本改正を求める請願署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願趣旨】

派遣労働者が急増しています。その圧倒的多数が、仕事があるときのみ雇用される登録型派遣労働者であり、きわめて不安定な雇用と低賃金のもとに置かれています。しかも、日雇い派遣やスポット派遣といった使い捨て労働が増大し、偽装請負や「安全協力費」の天引きなどの違法行為が野放しになっています。

その大本には、労働者派遣は本来臨時的・一時的業務に限るという原則を転換し、対象業務を原則自由化するなどの規制緩和をすすめてきたことがあります。

労働者が将来に希望を持って、人間らしく働き働くことができる社会をつくるために、以下のように、労働者派遣法を抜本的に改正するよう求めます。

【請願項目】

- 一 労働者派遣は、臨時的・一時的業務に限定するとともに、派遣元に常時雇用される常用型を基本とし、登録型は例外として厳しく制限すること。
- 一 日雇い派遣・スポット派遣はただちに禁止すること。
- 一 派遣期間の上限を1年とし、1年の雇用期間を超えた場合や違法行為があった場合は、派遣先が直接雇用したものとみなすこと。
- 一 派遣労働者への差別を禁止し、正社員との均等待遇を保障すること。
- 一 派遣元のマージン率(派遣手数料)の上限を規制すること

氏 名	住 所